

【納内時計台プラザ】

- ・納内の公園にはトイレが全くなく、支所も一定の時間になれば閉鎖してしまう。以前はバス停にもあったが、納内の住民は困っている。

⇒まちの中のトイレ事情ということで、いろいろと検討していきたいと思います。

- ・バス路線の減便などを踏まえ、スクールバスの地域利用について検討して欲しい。

⇒スクールバスの地域利用を実施している自治体は数多くあり、本市でも公共交通全体の取り組みの一つとして検討しています。

- ・全国的に深川の農産物を売り込めないかと考えている。その手法として、最近インターネットでも販売されている宇宙食はどうか。宇宙食はコストがかかるうえ、ジャクサの認定が取りにくいという問題もあるが、宇宙空間での健康を守るためには「食」が1番重要になってくる。未来に向けて商品開発などとしてはどうか。縁あって北海道大学で友人と研究を進めているので市に提案したいと考えている。

⇒アピールという点ではふるさと納税に力を入れており、ふるさとの納税の順位が上がっていくと、非常に知名度が上がっていくということが、これまでの取り組みの中で分かっています。「深川の米おいしいね」と感じてもらい、リピーターを獲得することによって、お米から始まる深川の製品のPRといった形で進めて行きたいと考えています。その一環として、ぜひ知恵を貸してください。

- ・有害鳥獣について、アライグマによる被害は相当なもの。アズマヒキガエルについては対策が取られて効果があったと聞いているが、アライグマについても諦めることなく徹底的な対策を取って欲しい。

⇒アズマヒキガエルについては、昨年の4月に一応収束宣言をしています。アライグマによる被害は非常に多いと聞いているため、対策を強化することも重要と考えています。

- ・空き家対策について、市でも対応して改善していると聞いているので今後も進めて欲しいが、積雪期間の駅前には通行が困難で危険な状況になる。クラーク高校や小学校もあるので、こうした危険は解消して欲しい。

⇒冬に危険性が伴うような場所については、十分注視をして対応していきます。

- ・小中学校への空調設備の設置は完了したと聞いたが、空調設備が未設置の公共施設への設置も必要になると思う。今後の計画について知りたい。

⇒現状、正式な計画はなく、市役所などの集客施設へのエアコン設置はおおむね終わっているが、コミュニティセンターなどへの設置要望も非常に多いため、計画の策定が必要であると考えています。

- ・ヒグマが各地で出没している。深川も市独自ではなく、旭川などの近隣市町村と連携してヒグマ対策を取れないものか。

⇒クマ対策について、旭川との連携は今のところありませんが、今年から鳥獣被害の対策を専門とする地域おこし協力隊（有害鳥獣対策支援員）を2名採用することになっておりますので、市の猟友会の皆さんにお手伝いをいただきながら、対策を万全にしていきたいと思います。

人口が減っている。昭和50年頃の農家の個数は300戸ほどであったが、現在は100戸を切っている状況である。一次産業が衰退している現状について、市独自で検証して、対策を検討してみてもどうか。

⇒農業の人口問題については、本当に深刻な部分ですし、関係所管で議論させていただきたいと思います。

・納内には市から無形文化財として指定を受けている猩々獅子舞があり、一已や多度志も同様に獅子舞がある。人口が減少する中、獅子舞を保存する団体の人員も少なくなっているが、何とか継続をしてもらいたいと思っている。こうした指定無形文化財を保存する団体への市からの助成はあるのか。

⇒記念事業や周年事業の際は、その事業に対して支援金等を支払っているほか、これまでに宝くじ助成金を活用して、獅子頭や太鼓を更新するなどの実績があります。

・まちづくりについて賑わいや活性化について展望を聞かせて欲しい。

⇒深川市は農業を基幹産業とするまちであり、豊作であれば経済が回り、まち全体のにぎわいにつながるとは思いますが、それだけではなく、それに派生する産業などにも取り組まなくてはならないと思っています。広里の工業団地にホクレンが米糠を使った米油の工場を建設するということが今進みつつあります。こうした農業に派生する産業で雇用を増やすことによって、若い方たちや子育て世代の方たちが深川に来ていただくことで、子どもも増え、人も増えていきます。一つ一つ地道に、深川だからこそできることをやっていくことが何よりも大切ではないかと思っています。

・新聞で高校2校体制が掲載されていたが、市内2校の存続はできるのか。

⇒高校2校の存続については、北海道教育委員会に対し、深川西高の3クラスそして東高の1クラスについて、要請をすることになっています。

・もっと多くの方に市長タウンミーティングに参加してもらいたいので、広報の仕方を検討してもらいたい。市民と市のつながりを大切することでもっといい方向に進むと思う。

⇒今回5会場で開催した内容などを十分に検証し、より良いものとなるよう検討します。